

年頭所感

愛知県左官業組合連合会 会長
横井良彦



新年あけましておめでとうございます。愛左連傘下団体に所属される組合員・会員の皆様に於かれましては、新たな年、令和8年のお正月を穏やかに迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は一昨年の衆議院に続き参議院選挙が行われました。選挙の際には多くの組合員・会員の皆様にご協力を頂きました。結果、石破内閣から高市内閣へ移行し日本初の女性首相が誕生したことはご存じのとおりです。石破氏の総理辞任は残念な事ではあります。自民党左官業振興議員連盟の会長席に戻って頂けたことは朗報でございます。トランプ関税によってこの地方でも製造業を中心に一部の設備投資事業において着工延期や計画延期といった声も聞かれます。一方において野田場では大型の竣工物件が集中したことから夏から初冬においては県内の労働事情も厳しい状況が続いております。町屋については住宅着工件数の減少状況が続いておりますが、店舗等の新設・リニューアルは堅調な状況にあったかと思えます。

愛左連にとって昨年は大変多忙な一年でした。3月までは建設産業専門団体中部地区連合会(建専連中部)の運営団体を勤め、私自身もその会長役を務めておりました。この間、多くの愛左連所属組合員の皆様には多大なご協力を頂きました。改めて感謝と共に御礼申し上げます。運営団体役を鉄筋組合と圧接組合に引き継ぎました後、5月には昭和31年以来の愛知での開催となりました日左連定時総会を名古屋マリオットアソシアホテルで開催しました。69年ぶりの開催という事で、誰一人経験者がいない状況での準備から始まりましたが、東海ブロック内の準備委員会、愛左連内の実行委員会、皆様のご尽力、更には諸先輩方のご助言のおかげで全国より514名の日左連会員、賛助会員、関係方面からの来賓を招いて無事に開催する事ができました。開催日・会場決定からおおよそ2年に渡り様々な検討準備を行い、多くの障害もありましたが、開催に關わって頂いた方々にとっては忘れる事の無い時間であったと思います。多くの皆様に好評を得て開催できました事を全ての関係者に感謝いたします。

技能検定も昨年は予定通り名古屋会場と三河会場の2か所で開催されました。直前に日左連方針である「チーフインストラクター講習」を実施したため日程的には厳しい中で、検定とそれに先立つ予行演習形式の講習会の開催と指導、検定業務、作業補佐を担当された関係各位には多忙な1か月であったかと思えます。改めて開催にあたってのご協力に感謝致します。

夏から秋にかけての猛暑の中で県内各地でのイベントが

コロナ禍前同様に開催され、各支部で出展対応して頂きました。いずれも「泥タンゴ」の人氣が高く、好評を得ていますが、これを左官仕上げの普及や担い手確保に繋げていきたいものです。また愛左協で出展している「尾張名古屋の職人展」が技能五輪全国大会と重なった為、愛左協、一粒会の皆様には大変なご負担をお掛けする事となりました。セントレアの五輪会場では本来の競技に加え、競技に関連する職種の体験イベントもありましたので、愛左連としては同時に3か所でのイベント対応となりました。

この数年、建設業の最大の課題とされている、担い手確保と技能工の処遇改善については今年も建専連中部主催の合同体験フェアに日左連東海ブロック会の登録名で出展・参加しました。昨年も5月と9月の2回開催でしたが、計4日間で541名の高校生・専門学校生を受け入れております。愛左連としては第1回より参加出展してありますが、青年部の「左官Public Relations Project」や元請各社の協力会主催の体験会、課外授業、現場見学会などに会員企業が積極的に参画しています。生産力確保策として中今や国内の担い手確保について愛知県は日左連でもトップクラスと認識しています。今後も連合会を挙げてこの課題に取り組んでまいります。野田場会では昨年5月に令和7年度版の「積算参考資料」をまとめ上げ、日左連総会の折に全国の会員にも購入できるよう販売して頂きました。本年度の設計労務単価をベースに作成しておりますので、最新の参考価格を掲載し、労務費を含めた処遇改善のベリスとなっております。まだお手元をお持ちでない方は是非ともご購入下さい。

振り返ればまだまだ多くの行事が行われ、町屋会、一粒会、各支部の皆様のおかげで1年を乗り越えることができました。重ねて御礼申し上げます。

さて、新たな年、令和8年ですが、昨年12月に改正された建設業法が本格的に適用されます。労務費の行き渡りを目指す標準労務費についてはまだまだ議論が続くでしょうが、左官を含む建設技能工の処遇改善と次世代の担い手確保を目的とした「新担い手3法」が施行となりますが、「社会保険未加入問題」以降、大きく変わってきた建設業の新たな姿が見えてくる年と事を期待しています。労務費の行き渡りについては、重層構造の解消や、また標準労務費の基となる設計労務単価に店社経費が上がついていない等、まだまだ議論の余地はあります。また標準歩掛を記載した新たな見積りフォーマットや材料費、労務費、安全衛生経費、建退協掛け金の明示が要求されることで、私たちが専門工業者としても汗を流さなければならない点も予想されます。決して平坦な道ではありませんとも思います。地域の生活環境や経済基盤を支える職種として胸を張るよう努力してまいります。

本年もまた多くの方々にお力添え頂く年となります。技能検定は例年通り進めてまいります。またこの数年開催が

労災保険未加入をなくそう

愛知県左官業協同組合
一人親方会 会長 三輪 諭

叶わなかった登録基幹技能者講習を今年こそ開催を目指してまいります。野田場のみならず、町屋、半田場の皆様におかれましては開講の際は受講していただければと思います。各地で開催されるイベントに対しては各支部でご対応願うことになるかと思えます。毎回泥タンゴは好評を得ていますが、この際、材料だけでなく参加者に饅頭を触っていただくか、或いは、企画を考案して頂く事をお願い致します。技能五輪全国大会は本年12月にセントレアのあいちスカイエキスポで開催予定です。昨年は愛知県より2名の出場がりましたが、本年こそ会員企業からの出場を期待します。また例年知多支部の皆様には大会の運営サポートをお願いしておりますが、昨年は残念ながらその際に負傷する事態も発生してしまいました。本年は大会の五輪のみならず、連合会に参加するすべての行事におけるケガをサポートする保険加入をお願い致します。万一の際の備えにも皆様からの情報提供をお願い致します。担い手確保策として開催される「合同体験フェア」にも今年も参加致します。本年5月は13回目の開催となりますが、この2日目5月22日は日左連総会、北海道ブロック札幌大会と重なります。従いまして青年部の皆様に指導・応援をお願いする事になると思いますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

会員増強策の一環として外国人技能工を雇用している事業所の組合加入を今年も呼び掛けてまいります。JAC賛助会員としての会費納入にメリットが生ずる点をアピールして新たな仲間を増やしてまいります。

この2年の間、建専連の運営と会長役を勤めながら知った事ですが、建築系専門工団体の多くが丁場と町屋、あるいは建築系と土木系と言った具合で、2つに分かれていますが、それに対して左官は町屋、丁場、半田場が左官組合として一つに課題とされる事案にそれぞれ解決策の糸口をもっていることはご理解頂いていると思います。町屋では難しい技能工の雇用形態や給与形態の改善策も町屋なら対策が早い。また丁場では難しい技能継承・伝承も町屋なら日常作業の内である等、それぞれが長所を持っていると言えます。地域の生活空間から経済基盤に至るまで守備範囲の広い団体ですが、その分課題解決の糸口も持っていると思います。組合員同士、会員同士が互いにリスベクトしながら組合活動を進めてまいります。

結びに、毎年この場で述べている事ですが、今年も多忙な一年と予想します。多忙な中でも愛左連の組合員・会員が互いに協力し合い、関係する全ての皆様にとって幸多い年であることを祈念申し上げます。

令和7年 各章受賞者一覧

官公庁長表彰

叙勲 瑞宝単光章
愛知県知事表彰 優秀施工者
名古屋市長表彰 技能功労者
柴田 敦司氏
中山 豊氏
藤澤 久氏

愛知県職業能力開発協会

会長表彰 永年勤続優良職業指導員及び講師表彰
三苫 雅彦氏
堀ノ江 大祐氏
会長表彰 優良職業訓練指導員及び講師表彰
後藤 久次氏
川岸 亮介氏
中山 瑠氏

愛知県技能士会連合会

会長表彰 会員功労者
会長表彰 会員功労者
上川 畑健二氏
本村 剛氏

名古屋市技能職団体連合会

会長表彰 優秀技能者
山路 貴博氏

日本左官業組合連合会

会長表彰 勤続三十年 (株)横井業務店 飯田 仁氏
会長表彰 勤続三十年 (株)横井業務店 舟波 和広氏
会長表彰 勤続三十年 (株)横井業務店 渡邊 弘樹氏

愛知県左官業組合連合会

会長表彰 勤続二十年 (有)清和業務店 近藤 達也氏
会長表彰 勤続十年 (株)ヒコサカ 吳 小敬氏
会長表彰 勤続十年 (株)ヒコサカ 張 磊氏
会長表彰 勤続十年 (株)横井業務店 杉山 匠氏

技能検定優秀合格者表彰

愛知県職業能力開発協会
会長表彰 一級 水野 輝蝶氏
会長表彰 二級 早川 侑汰氏

年頭所感

一般社団法人 日本左官業組合連合会 会長
石川 隆司



新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては、平素より当日左連の事業活動に特段のご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年(2025年)、大手、準大手、中堅主要建設会社の2025年度通期見通しでは、売上高で多少の減少が見られたものの、売上高総利益率の改善等に依り、営業利益は、全階層で増加、前年比48.5%増と大幅な回復を見せ、営業黒字を確保しました。

その反面、この間に倒産した中小規模の建設業は2000件台に上り、その要因は

①コスト高 ②人手不足 ③働き方改革等

とされ、明暗が別れ、非常に厳しい状況が確認されました。本年度は、法改正による「お金の流れ」の厳格化と人手不足を補うための「デジタル化」が両輪となり、これに適応できる企業が成長し、できない企業は淘汰される、という建設業界にとって大きな転換点となる節目の年となりそうです。2024年6月7日に公布された「改正建設業法」が、昨年2025年12月12日まで全面施行されました。今回の法改正の最大の目的は、技能者の処遇改善にあり、それは、適正な労務費・賃金の確保、技能者までの行き渡りに向け、労務費に関する基準となる「標準労務費」を核とした新たな取引ルールが導入される事にあります。

主なものを列記しますと、

1. 労働者の処遇改善・担い手確保
【標準労務費の基準作成・勧告】
・国が「標準労務費の目安を定める賃金設定」に反映させる。
【賃金・処遇改善の努力義務化】
・建設業者は、技能者の公正な評価と適正な賃金支払いに努める。
【原価割れ契約の禁止】
・労務費・材料費を下回る見積もり提出や、契約締結が禁止され、発注者への勧告公表も可能となる。
2. 資材高騰対策・価格転嫁の円滑化
【著しく低い労務費・工期設定の禁止】
・受注者も、無理な低価格や短工期での契約を自ら受入ることが禁じられる。
【工期ダンピング対策の強化】
・適正な工期設定のための工期基準の作成・勧告が行なわれる。

3. 働き方改革・生産性向上
【技術者制度の合理化】
【ICT活用の促進】

昨年11月13日、建設産業専門団体連合会・岩田正吾会長では、2025年度全国大会を開催されました。テーマは「職人たちの未来予想図」職人の価値を正當に評価する未来へ」であり、若者が入職し、将来へ持続するために変わりゆく専門工事業として発信しました。開会に当り、岩田会長は、「建設業の商取引は変革の時を迎えている」と切り出し、12月の改正建設業法の全面施行で運用が始まる、労務費の基準(標準労務費)に触れました。さらに、岩田会長は「労務費と雇用にかかる経費を、競争の原資とせず、実効性を担保し、欧米並の年収を職人に払える業界にしなければならぬ。施工者の選択基準を、価格から人への投資にマインドを変える必要がある。標準労務費を意識改革の端緒とすることを業界全体で共有し、マインド改革を実行しよう」と呼び掛けました。

技能者を直接抱える日左連会員事業所各位は、改正建設業法により、主体的に力強く対応し、新たな業界商慣習として定着させるべく、皆様と共に力を発揮して参りたいと思います。

結びに、日左連会員の皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。

賀正

令和8年 元旦(賛助会員)

株式会社 油 久 東海機械製造株式会社
稲熊建材株式会社 株式会社 友定 建機
株式会社 い・VISION 株式会社 名古屋大二機械
MUMATEX株式会社 日本化成株式会社
株式会社 エーピーシー商会 日鉄高炉セメント株式会社
エヌケーエス株式会社 美州興産株式会社
株式会社 大嶽 安城 富士川建材工業株式会社
株式会社 カネイ フジワラ化学株式会社
菊水化学工業株式会社 株式会社 柳川 建材店
四国化成建材株式会社 (株)ライナックス 日本営業所
信越化学工業株式会社 株式会社 ササ市商店
太平洋マテリアル株式会社 二瀬産業株式会社